

全国棚田(千枚田)連絡協議会

棚

田

ライステラス

第41号 2006.3.27
(季刊・年4回発行)

発行/全国棚田(千枚田)連絡協議会

編集/ふるきやらネットワーク

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-29-202

TEL 03-5389-9937 / FAX 03-5389-0078

http://www.yukidaruma.or.jp/tanada/



大分県宇佐市内町余の棚田の「ワラコズミ」を毎年作り続けるご夫婦

田んぼに積み重ねられた無名の民の手の記憶

写真家 藤田洋三

「藁塚放浪記」

わらづか

土蔵に塗りだされた鍔絵(こてえ)を追って30年になる。

ある時、その鍔絵が縁で訪ねた左官の里・静岡県松崎町の田んぼで、串刺しにされて空中に静止する不思議な藁のかたまりに出会った。土蔵とそこに収められるお米は切っても切れない関係にあるから、旅の道すがら、田んぼを巡って写真を撮る機会も多かったのである。静岡で〈ボッチ〉と呼ばれている藁のかたまりは、東北では主に〈ニオ〉と呼ばれ、四国では〈グロ〉と呼ぶ。九州では〈コヅミ〉や〈トシャク〉になり、その呼称は数百を越える。さらに島根県大田市の〈ヨズクハデ〉や岐阜県高山市〈ワラニゴ〉、宮城県栗原市〈ネジリホンニョウ〉、そして大分から山口にかけて分布する〈トシャク〉や滋賀の〈チョッポイ〉や宮崎〈トッベ〉などという「珍種」にも出会い、地域ごとに異なるその呼称と多様な造形の面白さにひかれていった。

さて稲から脱穀した後に残される藁は、米を含んだ粉(もみ)と違って土蔵の中に収納されることはほとんどない。風土に根ざした藁の干し方やその用途について、地域による変化や呼名をまとめた資料など皆無に近い。注目されるのはいつも米なのだった。

そして、稲や藁を干すという一つの行為の中に、地域ごとの日照時間や降水量の多寡、また土地独自の歴史や美意識が潜んでいることを知った。狭い田んぼでいかに効率的に乾燥させるかという「用」から生み出された結果としての「無償の美」。あるいは名も無き日本人が残した最後の美でもあるといっても過言ではないかもしれない。

全国の土蔵を訪ねた『鍔絵放浪記』や今回出版した『藁塚放浪記』が、ネコの額ほどの土地で営まれる棚田の暮らしとともに、農村景観のかけがいのない要素として認知される切っ掛けになればと願っている。

全国棚田(千枚田)連絡協議会 自治体会員紹介<前編>

その田をオーナー制に活用しています。

- ④耕作(運営)者の高齢化で、継続が危ぶまれます。
- ⑤入郷棚田保全協議会 会長 大町弘志 TEL:0285-62-0010 または、茂木町農林課農業振興係 TEL:0285-63-5634

<かぐや姫の郷 郷人(さとびと)>

- ①平成16年度～(4月～12月)
- ②竹原郷づくり協議会
- ③オーナー24組で棚田20a(3ヶ所)を耕作するオーナー制。田植えから収穫までを体験。たけのご掘りや竹林整備、ホテル観察会などのイベントも実施。米30kgを持ち帰ることができます。耕作しなくなった棚田が、オーナー制により現在も耕作され、休耕地が減少してきています。
- ④農業後継者が不足しています。
- ⑤竹原郷づくり協議会 会長 渡辺勝美 TEL:0285-63-3678 または、茂木町農林課農業振興係 TEL:0285-63-5634

新潟県上越市(旧安塚町 大島村)

担当:上越市役所安塚区総合事務所 産業建設グループ
TEL:025-592-2003 FAX:025-592-3505

特徴 水稲単作地帯で、標高200～600mのところ、こしひかり、五百万石、ヒメノモチなどを中心に作付けが行われている。約60%が整備された棚田となっているが、昔ながらの未整備田も多く点在している。地域の特性として、晩秋のころ、代掻きを終えた田の水面に映し出される風景も一興である。

棚田百選 地域全体に多くの棚田が点在しているが、特に景観的に優れた地区を全国棚田百選地区として認定した。

安塚区【上船倉の棚田】20ha。特徴は、すり鉢状の大パノラマ

大島区【葛蒲地区 連野】3.7ha。特徴は整然と区画された、大規模な棚田

<棚田オーナー制度>

- ①平成2年～(4月～10月)
- ②やすづか棚田クラブ、大島区産業建設グループ
- ③2a～5aの区画でオーナー募集。田植え稲刈り時のツアーを通して、米作りへの関心を深めていただき、地元と都市の交流が図れている。
- ④棚田を耕す農業者の高齢化。
- ⑤安塚区…雪だるま物産館 TEL:025-595-1010
大島区…大島区総合事務所 TEL:025-594-3101

新潟県柏崎市(旧高柳町)

担当:高柳町事務所 地域振興課 地域整備係
TEL:0257-41-2241 FAX:0257-41-2235

特徴 狭隘な平坦地と山間の急傾斜地に成立した零細規模の稲作経営が中心であり、山間豪雪の為気象条件に左右されやすいなか、棚田として先人から受け継いだ農地を守っている。

棚田百選 【花坂の棚田(大野地区)】9ha。地すべり指定地域に位置し地形に沿った畦畔が形状

千葉県鴨川市(旧鴨川市 天津小湊町)

担当:建設経済部農林水産課 農業振興係
TEL:04-7093-7834 FAX:04-7093-7856

特徴 清澄山系と嶺岡山系の裾に位置する棚田は、集落毎に周辺の里山環境と調和した風景が広がります。一方では海の見える棚田、一方では山の中の棚田、変化に富む地域です。市内各地で集落を中心とした「鴨川市棚田オーナー制度」を行っています。(市内棚田面積約1200ha)

棚田百選 【大山千枚田】3.2ha。天水、都市との協働による景観保全が特徴
<鴨川市棚田オーナー制度>

- ①平成12年度～
- ②鴨川市、鴨川市中山間地域等活性化協議会会員集落(16年度～)

③30,000円/100㎡(基本)。現在市内7ヶ所、300名を越すオーナー

<棚田トラスト>

- ①平成14年度～ ②大山千枚田保存会
- ③30,000円/100㎡(1区画)

<大豆畑トラスト>

- ①平成12年度～ ②大山千枚田保存会
- ③4,000円/1口

<酒づくりオーナー>

- ①平成16年度～ ②大山千枚田保存会
- ③15,000円/1口
- ⑤以上すべて:棚田倶楽部内大山千枚田保存会
TEL:04-7099-9050
メール:info@senmaida.com

もてぎ

栃木県茂木町

担当:農林課 農業振興係
TEL:0285-63-5634 FAX:0285-63-5600

特徴 茂木町は、自然豊かな農村風景が広がる県下有数の棚田が多い町です。八溝山系に囲まれた山あいの棚田(谷津田)は町全体に点在し、棚田群を形成しており、その総面積は約288haになります。しかしながら、近年の農業従事者の高齢化や後継者不足、加えて耕作条件が悪いこともあり、休耕地や耕作放棄地が増加していました。

このようなことから、棚田が持つ多面的機能を活かした都市農村交流事業を推進し、棚田保全ボランティア活動や棚田オーナー制度を実施しています。

棚田百選 【入郷石畑(いりごういしばたけ)の棚田】4.9ha(187枚)。

都市住民によるボランティア活動で耕作放棄地を解消し、現在はその田をオーナー制度の水田に活用しています。

<入郷石畑棚田オーナー>

- ①平成14年度～(4月～11月)
- ②入郷棚田保全協議会
- ③棚田100㎡のオーナー制。田植えから収穫までを体験。しいたけ狩りやホテル観察会などのイベントも実施。収穫した米を持ち帰ることができます。棚田保全ボランティアにより50aを復旧し、

市町村合併に伴い、全国棚田(千枚田)連絡協議会自治体会員も再編成されました。以前70強あった会員数も現在59自治体。棚田保全・中山間地域活性化のうねりを今後ますます力強いものにしていくためにも、各地域を改めて紹介します。各自治体の担当者の方々に、アンケートにお答えいただきました。

今号は<前編>として、各自治体の主たる棚田情報を掲載します。次号は<後編>として、棚田米などの商品のほか、抱えている問題点等を紹介し

アンケート内容<前編>

- 地域の棚田の特徴
- 棚田百選の棚田について
- 棚田保全活動<その1>棚田まつり、オーナー制度、トラスト制度等の取り組み
- <活動名>
- ①開始期
- ②事業主体
- ③内容等
- ④問題点
- ⑤ 問い合わせ先

アンケート内容<後編>次号で紹介

- 棚田保全活動<その2> 棚田米や酒等、棚田からの特産物販売
- 棚田保全活動<その3>景観条例、棚田調査等
- 棚田を生かして行っているグリーンツーリズムの事例
- 棚田の保全グループ、支援グループ
- U・Uターンの受け入れ体制、相談窓口等
- 棚田保全・活性化に関して困っていること、要望
- 全国に向けてアピールすること等

静岡県松崎町

担当:産業建設課産業係(棚田オーナー担当)企画観光課観光係
TEL:0558-42-3365(産業建設課) TEL:0558-42-3964(企画観光課) FAX:0558-42-3183

- 特徴** 【石部(いしぶ)の棚田】面積約10ha。内保全(直接支払協定)面積約4ha(米耕作面積約2ha)。伊豆西海岸に位置し、棚田から富士山や駿河湾が見える日本で随一の所。晴れた日には、対岸の清水、御前崎までが見えます。静岡棚田等十選に認定。
- <棚田オーナー(稲作オーナー制度、棚田トラスト制度)>
- ①平成14年度~
 - ②松崎町石部地区棚田保全推進委員会
 - ③年間35,000円/約100㎡(1畝)で、オーナーとなる。収穫後は精米20kgの棚田米を送る。トラストは、年間10,000円で活動に参加でき、収穫後は精米5kgの棚田米を送る。活動は田植え、刈入に参加。中間の草刈作業等にも自由参加(要連絡)。継続してオーナーとなる方が半数近い。受入も60組前後を募集しているが、いつも予約オーバーの状況。
 - ④保全に携わる農家の高齢化。また事務局的な人がいないため、役場で援助している状況。
 - ⑤松崎町石部地区棚田保全推進委員会会長、高橋周蔵 TEL:0558-45-0456

岐阜県恵那市

担当:経済部農業振興課 振興係
TEL:0573-26-2111(内544) FAX:0573-26-2861

- 特徴** 棚田百選:【恵那市中野方坂折棚田】平成11年7月農林水産省「日本の棚田百選」に認定。面積14.2ha。400年ほど前から築かれ始め、明治時代初期にはほぼ現在の形になる。地区の中央には坂折川が流れ、その両岸の標高410~610m付近に東向き斜面に作られた石積みの棚田。川の左側には戦国時代の築城集団、黒鉄組によって築かれた整然とした石積みが連なり、右側には農民が湧水を利用して田おこしをした素朴な野積みの棚田が連なっている。
- <坂折棚田オカリナコンサート>
- ①平成16年~
 - ②坂折棚田の展望広場にて、棚田の景観を眺めつつ聞くコンサート

愛知県新城市(旧鳳来町)

担当:鳳来総合支所 経済課農業振興係
TEL:0536-32-1984 FAX:0536-32-1170

- 特徴** 【四谷の千枚田】:空、山、棚田、水が正面から一望できる。棚田枚数852枚。面積736a。
- 【上島田の棚田】:小さな転石を積み上げた小さな棚田。棚田枚数約100枚、面積200a。
- 【棚田百選】【四谷の千枚田】736a
- <農地環境保全>
- ①平成14年度~
 - ②鞍掛山麓千枚田保存会
 - ③棚田内にある、公園、設備の管理清掃。周辺市道、県道の棚田景観障害木の間伐、伐採。全国棚田(千枚田)サミットの成功。
 - ⑤鳳来総合支所 経済課 農業振興係 TEL:0536-32-1984
- <里山体験 上島田の棚田>
- ①平成17年度~
 - ②上島田集落
 - ③上島田の棚田では、遊休農地を活用して地域活性化のため農園利用方式による、1区画(120㎡)で里山体験を8区画開催。地域の活性化のためになっています。12戸の山奥の集落。

- ①5月中旬(平成18年は5月13日(土))
 - ②千枚田景勝保存実行委員会(会長:白米町区長)
- <(秋)稲刈イベント>
- ①9月中旬(平成18年は9月23日)
 - ②千枚田景勝保存実行委員会(会長:白米町区長)
 - ③春、秋ともに、参加ボランティアの協力を得て作業を行い、終了後にはおにぎり等が振る舞われる。マスメディアや写真愛好家にインパクトを与え注目を浴びている。
- <(秋)結婚式イベント>
- ①9月中旬(平成18年は9月23日)
 - ②千枚田景勝保存実行委員会(会長:白米町区長)
 - ③田の神様にたとえられた2人が地域独特の風習で祝福を受ける。マスメディアや写真愛好家にインパクトを与え注目を浴びている。
 - ④以上すべて:作業に人手と技術を必要としており、伝承が困難である。
 - ⑤以上すべて:輪島市産業部観光課内 千枚田景勝保存実行委員会 TEL:0768-23-1146

長野県千曲市

担当:農林課 農村整備係
TEL:026-275-1050 FAX:026-275-4579

- 特徴** 全国的にも有名な名月の里・姨捨の棚田です。棄老伝説で知られ、国の名勝にも指定されている景勝地であり、「田毎の月」として古くから文人墨客が訪れた場所でもあります。棚田保全のため、荒廃農地対策として行われている棚田のオーナー制度には、たくさんの都市住民が参加しており、農作業の日は賑わいを見せます。オーナー制度が行われている田の付近には、長楽寺や四十八枚田など、観光スポットが多数あります。
- 姨捨の棚田は、全体で約25ha、およそ2,000枚の水田があります。標高の高い地域では、圃場整備が行われていない、従来どおりの曲線を主体とした畦畔の形が美しく、また、棚田から見える千曲川や善光寺平の眺望はすばらしく、四季を通じてカメラマンやスケッチをする人が訪れます。
- また高速道(長野道)更埴ICから車で20分、JR篠ノ井線姨捨駅から徒歩で20分と、都市からのアクセスが良いのも特徴です。

- 【棚田百選】【姨捨(おばすて)の棚田】棚田オーナー制度を通じ、地元住民が積極的に維持保全活動に携わり、「千曲市棚田保全推進会議」の下で継続的に棚田を耕作しています。
- <名月の里・おばすて「棚田貸します制度」>
- ①5月下旬~10月中旬
 - ②事業主体:千曲市棚田保全推進会議
 - ③〔体験コース〕会員は千曲市に1㎡当たり300円(年額)を支払い、田植えや稲刈りなどの農作業を行い、収穫したお米は全てお持ち帰りいただけます。地元農家の団体「名月会」が指導しますので、初めての方でも安心して作業できます。〔保全コース〕1口当たり30,000円の資金をいただき、保全にご協力していただけます。農作業への参加は自由で、脱穀後に棚田でとれたうるち米20kgを宅配でお届けします。首都圏をはじめ、都市部から多くの会員が訪れ、姪石地区約2.25haの水田が荒廃から守られています。
 - ④地元農家の高齢化。
 - ⑤千曲市経済部農林課農村整備係 TEL:026-275-1050(内7253)

- 的な美しさがある。(未整備)
- 【梨ノ木田の棚田(磯之辺地区)】9ha。棚田の荒廃をさけるため畦畔に10,000株の芝桜をボランティア活動で植生する。(整備済)
- 【大開の棚田(門出地区)】12ha。農道の傾斜を緩くするために圃場が菱形に区画されている。(整備済)
- 平成11年6月から平成16年6月まで延べ14回の棚田ボランティア活動を実施(平成17年度は平成16年中越地震のため中止)。
- <ECHIGO棚田サポーター保全in高柳>
- ①毎年5月から7月頃2回程度
 - ②高柳町主催
 - ③棚田畔の草刈、芝桜の植生、用水路の草刈、農道の草刈。延べ978人の参加(地元農家、町内外の一般者、新潟県棚田サポーター会員)高齢化が進む地元耕作者の農作業の軽減に成果を見る。
 - ④町全体が棚田と言ってもおかしくないため、地区の選定とボランティア活動の継続性に問題。
 - ⑤高柳町事務所地域振興課TEL:0257-41-2241

新潟県長岡市(旧山古志村)

担当:山古志支所 産業課
TEL:0258-46-1504 FAX:0258-46-1501

- 特徴** 先人達の絶え間ない努力により切り開かれた棚田は機械化できず次第に耕作放棄となった。それを養鯉池として利用し、棚田の美しい景観は「米」から「錦鯉」へと受け継がれてきた。四季のうつろいの中で表情を変える「稲穂と養鯉池水面のコントラスト」は、中山間地に位置する山古志地域の原風景となっている。
- <農道整備>
- ②集落
 - ③側溝の清掃、道路、田んぼ周辺の草刈り。米を害虫から守り、農作業の維持管理を容易にする。
 - ④新潟県中越大地震により豊かな自然が失われた。

富山県氷見市

担当:農林課
TEL:0766-74-8086 FAX:0766-74-8088

- 特徴** 市の地形から、棚田は多いです。市内各所に美しい棚田があります。
- 【棚田百選】【長坂(ながさか)地区】豊かな緑、眼下に広がる富山湾、海をへだてて立山連峰(3,000m級)
- <棚田オーナー制度(長坂地域)>
- ①平成11年~
 - ②氷見市棚田保全推進会議
 - ③イベント(田植え、稲刈り)の実施。これによって交流人口が増加し、また集落が団結。
 - ④労働力不足(労働者の高齢化に伴う)
 - ⑤氷見市産業部農林課 TEL:0766-74-8086

石川県輪島市

担当:産業部観光課 観光係
TEL:0768-23-1146 FAX:0768-23-1855

- 特徴** 非常に小さな田(座布団1枚にも満たない田)がある。/すぐ海岸線に面している。/勾配が非常にきつく、自動化ができない。/1000枚以上の田による棚田が構成されている。
- 【棚田百選】【白米(しろよね)の千枚田】国指定名勝、平成13年1月29日指定。約4ha。第1回米米フォーラムin輪島会場(平成11年)
- <(春)田植えイベント>

- ②農道農地の保全作業
- ③地元住民の出役共同作業による農村景観の保全、環境美化。

大阪府能勢町

担当:産業建設課 農林商工観光係
TEL:072-734-3976 FAX:072-734-1545

特徴 伝統的な石積みにより構成されている長谷棚田は、古くより地元農家で維持・保全されており、潤いある農村景観を残している。

棚田百選 【長谷(ながたに)棚田】5.9ha
＜能勢ながたに棚田農園＞

- ①平成10年～
- ②平成10年～平成15年:大阪府みどり公社、平成16年～:能勢ながたに棚田農園管理組合
- ③田植え、稲刈り体験、収穫祭等。平成10年の開設時から延べ1,047組が参加。
- ④管理組合員の高齢化
- ⑤能勢ながたに棚田農園連絡事務所
TEL:072-622-2751

兵庫県多可町(旧加美町)

担当:産業振興課
TEL:0795-32-2380 FAX:0795-32-2349

特徴 【岩座神(いざりがみ)棚田】11.8ha。「石垣だけはよそにない立派なものと思っている」と岩座神棚田保全推進協議会。古いものは700年くらい前に築かれたといわれており、もっとも高いもので5.35m、平均で2.35m。城の石垣を思わせる石積みは「寺勾配」と呼ばれ、最高斜度は109%（神戸大学農学部調べ）。保全のために二段になっているものもある。不思議と、古い石垣ほど崩れないそう。

【だんだんファーム(西山・轟地区)】7.9ha。眼下に杉原川が広がりを見せる絶好のロケーション。

棚田百選 【岩座神棚田】11.8ha。棚田の美しい石垣は今から約700年前に築かれたといわれています。21戸の住居が棚田の農村景観の中に溶け込み、日本の原風景と呼ぶにふさわしい場所です。

＜棚田オーナー制度＞

- ①平成9年度～(継続中)
 - ②岩座神棚田保全推進協議会
 - ③1区画100㎡を年会費50,000円で利用できる。田植え、肥料時き、稲刈りといった基本作業の他にもちつき、そば打ちが体験できる。岩座神に来る人が飛躍的に増え、集落に活気が出た。地元住民の協力体制が整った。
 - ④集落の人口が少ないので、オーナー田の維持管理、イベント開催の負担が大きい。
 - ⑤産業振興課TEL:0795-32-2380
- *多可町加美区には岩座神地区のほかに西山・轟地区にも石垣の棚田があり、棚田オーナー制を実施している。西山地区では畑、轟地区では田を提供している。

兵庫県香美町(旧村岡町)

担当:産業部農林課 農政係
TEL:0796-94-0321 FAX:0796-98-1532

特徴 町内には、日本の棚田百選に選ばれた棚田が2つあり、棚田を多く持つ町です。高齢化が進んでいますが、農業者が手間暇かけて保全しています。

棚田百選 【和佐父・西ヶ岡】9.6ha
【うへ山】3.1ha

滋賀県高島市(旧高島町)

担当:高島支所 産業振興課 農林水産係
TEL:074-36-2012 FAX:0740-36-1467

特徴 高島市高島には、【畑(はた)の棚田】と【鶴川(うかわ)の棚田】があります。畑の棚田は旧高島町の最も西の端にあたる標高400mの山間にすり鉢状に棚田が広がり、棚田に見守られるように家々が点在しています。四季折々の美しい景観が評価され滋賀県で唯一「日本の棚田百選」に選ばれ、昨年は映画「男たちの大和/YAMATO」のロケ地にもなりました。畑の棚田とは対照的に鶴川の棚田は、琵琶湖の湖畔から細やかな曲線模様を描いて積み重なるように棚田が広がります。背後に比良山系の山並みをひかえ、眼の前には琵琶湖を一望できるこの地は、湖・棚田・山並みがおりなす最高のロケーションです。

棚田百選 【畑の棚田】田んぼは359枚、面積約15.4ha。選定理由として他の棚田と比べ保全が行き届いていることと四季折々の美しい景観が評価された。

＜高島棚田ふれあい交流事業＞

②高島棚田ふれあい交流実行委員会、畑の棚田を守る会、鶴川ふれあい農園管理組合他

＜畑の棚田・酒オーナー制＞

- ①平成12年度～(継続中)
- ③30,000円/1区画100㎡。おまかせコース(田植え・稲刈りのみ)とこだわりコースが有。20,000円/酒10本。酒オーナー制度が有。

＜鶴川の棚田の農園オーナー制＞

- ①平成14年度～(継続中)
- ③年間9,000円/1区画35㎡、年間15,000円/1区画70㎡。

＜たかしま棚田まつり＞

- ①平成12年度から畑と鶴川と交互開催
- ③内容は、わら細工などの体験コーナーのほか、米米クイズ、屋台、かかしコンクールなど。
- ④申込が多くなり受け入れ体制の充実を図る必要があるが地元の対応だけでは難しくなりつつあります。
- ⑤高島市高島支所産業振興課 TEL:0740-36-2012

京都府福知山市(旧大江町)

担当:大江支所 地域振興部門 経営戦略係
TEL:0773-56-1102 FAX:0773-56-2018

特徴・棚田百選 【毛原地区】8ha。地域ぐるみの棚田保全の取り組み(棚田オーナー制度、共同草刈作業等の実施)。棚田水田枚数600枚、高低差100m、面積8ha。他の地域の棚田は遊休荒廃が進んでいる。

＜棚田農業体験ツアー＞

- ①平成9年～(平成18年は5月14日に実施)
- ②棚田農業体験ツアー実行委員会
- ③都市住民・子供たちの農業体験

＜棚田オーナー制度＞

- ①平成10年～
- ②棚田農業体験ツアー実行委員会
- ③オーナーによるお米づくり。棚田オーナーが地元で農作業する日数が年間10日～20日。
- ④水田転作制度により、お米づくりが出来にくい。オーナーの農作業が週末を利用した農作業であり、天候に大きく左右される。
- ⑤実行委員会事務局 櫻井一好 大江支所内
TEL:0773-56-1103 または、荒賀正之 大江支所内
TEL:0773-56-1102

＜中山間地域等直接支払制度＞

- ①平成13年～、地元毛原区

三重県松阪市(旧飯南町)

担当:飯南地域振興局 農林水産商工課
TEL:0598-32-2513 FAX:0598-32-2557

棚田百選 【深野のだんだん田】面積:3.5ha。
特徴:現地の石(花崗岩)を使用した何段にも織り成す石積み

三重県熊野市(旧紀和町)

担当:紀和総合支所 地域振興課 地域振興係
TEL:05979-7-1113 FAX:05979-7-1003

特徴・棚田百選 【丸山千枚田】1340枚(7.2ha)の水田はすべて石積みがされ、見晴台からの景観は、四季折々美しいです。

丸山千枚田は景観の美しさだけでなく、そこに生きる水生昆虫や野鳥、植物と雄大な自然の宝庫となっています。平成5年より荒廃田からの復田に取り組み、当時530枚まで減少していた田も今では1340枚まで復田を達成し、貴重な文化遺産ともいわれる千枚田になりました。

＜丸山千枚田オーナー制度(農業体験型)＞

- ①平成8年度～
- ②(財)紀和町ふるさと公社
- ③会費(年間)30,000円。面積(1口当たり)約100㎡。オーナーの資格:農業に情熱を持っている方。農作業に従事できる方(田植・稲刈。都合により作業に参加できない方も加入していただけます。)オーナー特典:年2回「季節の野菜等」の発送。白米15kgを保障。機関紙の発行。宿泊施設(千枚田荘・静流荘)割引。

＜守る会(サポート制度)＞

- ①平成11年度～
- ②(財)紀和町ふるさと公社
- ③協力金(年間):10,000円。会員特典:白米1.5kg。機関紙の発行。千枚田保全のための費用面でのサポート。都市住民との交流および千枚田の保全費用の確保が目的。メ切は毎年8月末。
- ⑤以上すべて(財)紀和町ふるさと公社
〒519-5405 三重県熊野市紀和町丸山255-6
TEL:05979-7-0640 FAX:05979-7-0641
E-mail:furusato@za.ztv.ne.jp
http://www.za.ztv.ne.jp/furusato/

三重県亀山市

担当:産業建設部農政室(4月1日より)
TEL:0595-84-5048 FAX:0595-82-9669

特徴 棚田百選:【坂本棚田】23ha 440枚
＜坂本棚田野上がりにまつり＞

- ①平成13年度～(平成18年6月4日開催予定)
- ②坂本棚田野上がりにまつり実行委員会
- ③もちつき大会、語り部による棚田ツアー、紙すき体験、写生大会、撮影大会など(予定)。開催場所:坂本農村公園。「野上がり」とは田植え後の休日のこと。
- ④高齢化。後継者不足。
- ⑤産業建設部農政室(4月1日より)
TEL:0595-84-5048
野登(のぼり)コミュニティ
TEL:0595-85-0001
坂本棚田保存会長 星合(ほしあい)恒
TEL:0595-85-1375

- ②上田・平佐棚田保存会
- ③100㎡を貸し出し、田植えから刈り取りまでを行ってもらい、秋に収穫祭を行う。ほとんどがリピーターである。
- ④PRの方法
- ⑤羽須美支所 産業建設課 TEL:0855-87-0224

みさき
岡山県美咲町 (旧旭町、
棚原町、中央町)
担当:産業一課
TEL:0868-66-1118 FAX:0868-66-7622

- 特徴・棚田百選** 【旭地区】:【小山の棚田】5ha。石積み棚田で、急傾斜地にある。
【中央地区】:【大井和(おおはがに)】の棚田】42ha。谷全体を棚田が囲んでいる。
- <美咲町棚田保存地区連絡協議会>**
- ①平成15年～
 - ②同上協議会
 - ③棚田の景観保全や都市との交流を行う。特産品の開発。棚田まつりの開催。地産地消の推進。イベントの開催。
 - ④高齢化が進んでいる。
 - ⑤産業一課 TEL:0868-66-1118

岡山県久米南町
担当:産業課
TEL:0867-28-4412 FAX:0867-28-2749

特徴 久米南町は岡山県の中部に位置する中山間地域で、人口約5,900人の農村です。農業が主産業ですが、分水嶺に位置しているため大きい河川がなく平野部は非常に少ないため、昔から恒久的な水不足により十分な米作りができないまま、谷沿い等の狭小な田畑の耕作がなされていましたが、先人たちにより江戸時代と明治から昭和初期にかけて各地で耕地整理が進み、50ヶ所に及ぶため池の新設や改修と合わせて灌漑施設として当時としては珍しいサイフォン式の導水管や隋道を駆使して配水路が設置され、新たに山間高台に約200haの開田が行われてすばらしい稲作の村に変わりました。これを今に受け継いで当地域では、「耕して天に至る」の如く山間棚田が織り成すすばらしい景観があちこちに見られます。平成11年に「日本の棚田百選」に当町から、北庄・上棚の2地区が選ばれ、全国的に見ても貴重な景観資源であることを再確認しました。

中山間地域等直接支払制度には制度発足当初より、町全域で取り組んでおり、該当地域では、農道や水路の保全・補修等の公益的作業が進められていき易くなっており、転作田を利用した黒大豆の集団栽培も行われるなど、高齢化が進む中、集団営農を通じて、いろいろな共同作業がなされています。

また、制度発足以前から棚田地域では豊富なあぜ草等の堆肥資源を生かした有機農業による天然米の生産等も行われており、生産組合やグループでも取り組まれています。以前から北庄地区では、地元誕生寺小学校の児童と田植え・稲刈り体験作業や収穫感謝祭を住民との三世代交流で毎年開催、14年度では、岡山県モデル事業の「田んぼの学校」を開校、農作業体験や水利調査を通して棚田の持つ役割や大切さを子供たちに伝えていっています。

また、「棚田まつり」で特産品の天然今摺り米・餅等加工品や野菜を販売し地域のPRを行っています。近く交流施設の建設計画もあり、地域を盛り上げようという気運が盛り上がっています。

以上のようなことができるのも、地域のコミュニティーがしっかりしているからであり、隣同士の助け合いがなされているということで、農村の良さ

- (TEL:0858-82-2238)まで
- ④当初10組程度申込みがあったが、現在は1組となっている。
 - ⑤代表者:奈羅尾寿夫 TEL 0858-82-1850

よしか
島根県吉賀町 (旧柿木村)
担当:産業課
TEL:0856-79-2213 FAX:0856-79-2344

特徴・棚田百選 【大井谷(おおいだに)】約8ha(そのうち水田作付約6ha)。古くは室町時代から藩政時代に築かれたもので、約600年間幾度の積み直しや補修を経て現在約600枚の石積みの田んぼが耕作されています。石積みがとても綺麗な棚田です。

- <棚田まつり>**
- ①平成10年～
 - ②助はんどう会
 - ③棚田米のすくい取り、棚田スローウォーク、石見神楽上演等。新米のすくい取りは好評で、いつも長蛇の列ができる。
 - ④新しい企画を入れて集客に努めたい。

- <棚田オーナー制度>**
- ①平成11年～
 - ②助はんどう会
 - ③オーナーは年3回(田植え・草取り・稲刈り)を行い、収穫したお米は持ち帰りできる。草取りの日とあわせて交流会を行っている。
 - ④新規オーナーの受け入れ。

- <棚田トラスト制度>**
- ①平成12年～
 - ②助はんどう会
 - ③棚田保全に協力したいという方に1口1万円の資金援助を求めるもの。特典として「棚田米5kg」を送っており、お米がおいしいと評判が良い。
 - ④近年、会員が減少傾向にある。
 - ⑤以上すべて:吉賀町役場産業課(柿木庁舎)
〒699-5301島根県鹿足郡吉賀町柿木村柿木500-1
TEL:0856-79-2213 FAX:0856-79-2344

島根県浜田市 (旧三隅町)
担当:三隅支所 産業課 農林水産係
TEL:0855-32-2803 FAX:0855-32-2850

特徴・棚田百選 【室谷(むろだに)の棚田】標高60～220mの地に28haの農地。平均傾斜1/11の棚田が約1,000枚。

- <室谷の棚田まつり>**
- ①平成13年度(11月)～
 - ②両谷連合自治会・三隅町観光協会・石正美術館
 - ③撮影会、散策会、石見神楽上演、農産物販売。13年度開催から年々参加者が増加している。
 - ④昼食の「むろだに会席膳」が限定のため、参加者に行き渡らない。
 - ⑤三隅町観光協会(TEL:0855-32-2104)

おうなん
島根県邑南町 (旧羽須美村、
瑞穂町、石見町)
担当:産業振興課
TEL:0855-95-1116 FAX:0855-95-0171

特徴 急峻で、棚田一枚の面積が小さく、耕耘機での作業がやっとなところが多く、労働時間がかかりかかっている。標高差があることから、昼夜の温度差があり、おいしい米が穫れる。

- 棚田百選** 【神谷(かんだに)地区】
<棚田オーナー制度>
- ①平成10年～

<大笹だんだんたんぼの会棚田オーナー>

- ①平成15～16年度
- ②大笹だんだんたんぼの会
- ③田植え、稲刈り、案山子づくり、収穫祭。
- ④募集の方法。現在は活動を行っていない。

<美方町貫田棚田オーナー>

- ①平成12～16年度
- ②貫田農事組合
- ③田植え、稲刈り、案山子づくり、収穫祭。
- ④募集の方法。現在は活動を行っていない。

<棚田トラスト>

- ①平成14～16年度
- ②むらおか大自然活用塾
- ③オーナー制度の紹介や棚田マップの作成。
- ④募集の方法。昨年度で終了。

奈良県明日香村

担当:(財)明日香村地域振興公社
TEL:0744-54-9200 FAX:0744-54-5118

特徴 奥明日香と呼ばれる自然豊かな地域に広がる美しい棚田。「日本の棚田百選」にも選ばれ、オーナー制度も実施しています。

棚田百選 【神奈備の郷(稲刈)】21.5ha
<棚田オーナー制度>

- ①平成13年度～
- ②棚田ルネッサンス実行委員会
- ③オーナー制度(田んぼコース、畑コース、トラストコース)を実施し、地域の活性化を促す。荒廃農地の解消に役立っています。
- ⑤(財)明日香村地域振興公社 TEL:0744-54-9200

ありだがわ
和歌山県有田川町 (旧清水町)

担当:清水行政局 産業課
TEL:0737-25-1063 FAX:0737-25-9005

棚田百選 【あらぎ島】2.0ha。扇状の河岸段丘からなる棚田

- <稲作体験>**
- ①平成16年～
 - ②(財)有田川町ふるさと開発公社
 - ③田植えから収穫までの稲作の過程を体験。成果は、あらぎ島(清水地域の情報発信)と地域PR。
 - ④イベント経費の確保と受け入れ農家の高齢化。
 - ⑤清水行政局産業課 TEL:0737-25-1111
(財)有田川町ふるさと開発公社 TEL:0737-25-0221

わかさ
鳥取県若桜町

担当:産業振興課
TEL:0858-82-2238 FAX:0858-82-0134

特徴 【歴史】開墾の起源ははっきりしていないが、近世(戦国～江戸)の頃と推測されている。【景観】本棚田は、国定公園水ノ山の麓の700～800mの高地に位置し、棚田と広葉樹の山々が一帯となった景観が素晴らしく、四季折々の自然が楽しめます。

棚田百選 【巻米(つくよね)】5ha(約100枚)
<棚田オーナー制度>

- ①平成12年度～
- ②つくよね棚田ファーマーズ
- ③棚田において米づくりに関する農作業を行う。収穫時に棚田米を20kg帰属する。
・1区画100㎡(料金30,000円)
・特典:棚田米20kg、地元の特産品を宅配。詳細につきましては、若桜町役場産業振興課・岩本

5,000円。

成果は、農家数や農業従事者の減少、また高齢化が進む泉谷地区において、労働力の確保と棚田の持つ多様な機能を理解してもらうことができ、地元農家にとっては、都市住民との交流の中から、生きがいを見出し、泉谷地区の活性化が図れている。

- ⑤以上すべて、内子町役場 TEL:0893-44-2111
- 泉谷地区棚田を守る会 上岡(うえおか) 満榮 TEL:0893-43-0543

愛媛県西予市 (旧城川町)

担当:城川総合支所 産業課 商工観光係
TEL:0894-82-1111 FAX:0894-82-0349

特徴 西予市城川町内に点在する棚田はどの地区も厳しい土地条件にもかかわらず農意欲が旺盛で、西予市が推進している「わがむらは美しく」運動に地域を挙げて取り組んでおり、美しい農村風景を形成しています。

- 棚田百選** 【堂の坂(どうのさか)】1.5ha。西予市城川町田穂地区内に所在。平均勾配1/5と厳しい条件の中、先祖伝来の棚田を守る意欲のある地域住民に守られている。

愛媛県大洲市

担当:農林水産課
TEL:0893-24-2111 FAX:0893-24-1350

特徴 4市町村で合併したが、各地域とも3〜5反程度の小規模の棚田が分散している。

<棚田に案山子の展示>

- ①平成11年〜(7月末〜10月末)
- ②大洲市蔵川かかし遊友会
- ③案山子祭り。300体並ぶ年も。地域コミュニティの維持に成果。
- ④毎年経費がかかる。
- ⑤大洲市蔵川 西山輝幸 TEL:0893-27-0907

愛媛県伊方町 (旧三崎町、瀬戸町、伊方町)

担当:地域振興課
TEL:0894-54-1113 FAX:0894-54-1988

平成17年4月1日に3町合併し、伊方町となるも、棚田は統計上0(ゼロ)であります。

高知県梼原町

担当:産業振興課 商工観光係
TEL:0889-65-1250 FAX:0889-40-2010

特徴 四万十川流域にある棚田、一枚当たりの耕作面積は小さく、大きな機械は入らない。先人がひとつひとつ石を積み上げ作りあげた棚田は年々減少しながらも、地元住民により現在もその姿を残している。

- 棚田百選** 【神在居(かんざいこ)の千枚田】現在の全体面積は20,273㎡、枚数にして180枚程度。その内約20枚を全国に先がけて始めたオーナー制に充てており、現在も交流が続いている。

<棚田オーナー制度>

- ①平成4年度〜
- ②千枚田ふるさと会
- ③1枚約1aの棚田を四万十川にちなみ、40,010円で貸し出し。田おこしに始まり、収穫までを体験してもらう。できた米はオーナーにいただける。全国に先がけて始まった棚田オーナー制度。全

徳島県三好市 (旧井川町)

担当:井川総合支所 産業観光課
TEL:0883-78-5006 FAX:0883-76-3016

特徴 こんな所に?…という道を下るとそこには絵に描いたような風景が広がる。後継者不足の影響から、枚数・面積は小規模ながら、ひとつの美術作品としての完成度と確かな農の営みが存在する。

<棚田百選【下影の棚田】>

徳島県上勝町

担当:産業課
TEL:08854-6-0111 FAX:08854-6-0323

特徴 上勝の棚田米ブランドで売り出し中。
棚田百選 【椋原(かしはら)の棚田】546枚、5.5ha

<棚田等オーナー制度>

- ①平成17年〜
- ②上勝自然体験学習研究会
- ③1区画(100㎡程度)を50,000円で貸し出す。(指導・管理あり)。成果として、耕作放棄地の減少。
- ④農家の高齢化
- ⑤上勝自然体験学習研究会 TEL:0885-44-6290

愛媛県内子町 (旧五十崎町、内子町)

担当:総務課 町並地域振興班
TEL:0893-44-2111 FAX:0893-44-4300

特徴・棚田百選 【泉谷(いずみだに)】平均標高470mの北西に向けて開けた4haの斜面に、95枚の棚田が広がっています。平成11年に日本の棚田百選に認定されており、地元小学生の農業体験活動や地域の自然散策イベントである自然浴ツアーの中心地として、多くの方に親しまれています。また、急峻な山あいを開けた景観が、先人の農へのたゆまぬ努力を感じさせるとともに、周辺の山々とうまく調和しており、四季折々の色鮮やかな棚田の様子を楽しむことができます。

<小学校児童農業体験>

- ①平成12年〜
- ②御祓(みそぎ)小学校
- ③地元小学生全校児童が棚田で田植え・草取り・稲刈りなどの米作りを学ぶ。棚田を地元の宝として認識するとともに、農家への感謝の気持ちや食糧としての米を大切に作る気持ちが養われている。

<内子自然浴ツアー>

- ①平成12年〜
- ②泉谷地区棚田を守る会・内子町
- ③泉谷棚田をはじめ、三島神社や龍馬脱藩の道など御祓地区の自然を散策する。また、棚田米を鎌で炊いておにぎり作りの体験をしたり、山間からの湧き水で冷やしたソーメンを食べながら来訪者と地元農家の交流を深める。成果としては、参加者にとっては、自然の大切さを理解する機会になるとともに、心身のリフレッシュが図れている。また、参加者と地元との交流により互いの心を豊かにし、地元農家の生きがいにつながっている。
- ④地元農家の高齢化と後継者不足

<農業体験ツアー〜泉谷で棚田米を作ろう〜>

- ①平成16年〜
- ②泉谷地区棚田を守る会・内子町
- ③棚田において、田植え・草取り・稲刈りなどの米作りの作業を地元農家の丁寧な指導により体験する。収穫した米30kgをお持ち帰りいただく。金額は1

伝統精神として残していきたいものです。

- 棚田百選** 【北庄地区】面積80ha。田の枚数2700枚。農家戸数90戸。平均勾配1/7.5。
- 【上粉地区】面積22ha。田の枚数1000枚。農家戸数40戸。平均勾配1/7。

<田んぼの学校>

- ②北庄中央棚田天然米生産組合
- ③地元小学校との体験交流事業、稲の成長観察(田植えから収穫までの取り組みなど)。例年4月から12月まで。

土の感触に触れ、昔ながらの農作業体験を通して、作る大変さと自分たちで収穫したものを味わう喜びを実感してもらうことと、ため池や水路の仕組みの役割について調査し、水辺の生き物と触れ合い、水の大切さを学習すること。また、地区民との交流を通して、昔ながらの伝統を学び継承する等、農業に対する理解とふるさとを思う心を持った子供たちを育てることを目的としている。

<棚田天然米まつり>

- ①平成6年〜
- ②北庄中央棚田天然米生産組合
- ③イベントの実施:棚田ファンクラブ会員の協力による棚田百選の写真展示。有機低農薬米(今摺り米)の試食と販売。有機低農薬米・古代米を利用した加工品の模擬店。北庄地域活性化計画のPR。餅投げなど。
- ⑤以上、北庄中央棚田天然米生産組合 組合長 西河明夫 TEL:0867-28-3584

山口県長門市 (旧油谷町)

担当:経済建設部 農林課
TEL:0837-22-2111 FAX:0837-22-8458

特徴 旧油谷町の棚田地域(向津具、宇津賀、蔵小田地区の一部)は地域的には10%以上の傾斜農地が650haであり、耕作地1枚当たりの面積250㎡程度。

<棚田百選【東後田】(水田と海、夕陽と漁火)>

<棚田フェスティバル>

- ①平成14年〜平成17年
- ②長門地域活性化推進協議会
- ③田植え、稲刈り。本地域は恵まれた自然を活用しながら第1,2,3次産業を連携させ、活性化を図る。
- ⑤山口県長門市東深川11339-2 長門市役所 経済建設部 農林課

山口県本郷村 (3月20日に岩国市と合併)

担当:産業建設課
TEL:0827-75-2585 FAX:0827-75-2928

特徴 第2期直接支払制度実施面積(田・急傾斜)…272,461㎡。

主な農地はほ場整備が完了し、昔ながらの「棚田」はほ場整備田周辺に点在している。

直接支払交付金を活用し、耕作放棄の発生防止や獣害防止対策を行っている。

山口県岩国市 (旧錦町)

担当:農林課 農政係
TEL:0827-72-2117 FAX:0827-72-3731

<特徴【後野の棚田】【沼田の棚田】>

<棚田オーナー制度(後野の棚田)>

- ①平成14年〜 ②地元
- ③棚田での水稲栽培体験。
- ④地域の受皿づくりがむずかしい。

田が拓かれている。平成16年度には第10回全国棚田(千枚田)サミットを開催。2日間延べ約1,200人が参加し、棚田米の販売戦略や棚田農業維持の方法などについて意見を交わした。

棚田百選【肥前町】大浦の棚田】25ha

佐賀県と長崎県の境界の伊万里湾に浮かぶ大小の島々を背景に、1,056枚の水田が海岸まで広く棚田を望める。4月下旬に田植えが済み、7月中旬に収穫を終える早期コシヒカリの基地となっている。6月頃、夕日に映える水面と畦線や早苗とのコントラストが素晴らしく、撮影ポイントとなっている。

【相知町】蕨野(わらびの)の棚田】40ha

唐津市相知町、伊万里市、多久市の境にある八幡岳(標高764m)の北側裾野、標高150~420mの急傾地に拓かれている。石積みで築かれた棚田は、城壁やピラミッドを見るようだと言われる。棚田の中で一番高い石積みの高さは8m50cmで、この高さは日本一を誇る。棚田を縫うように走る急勾配の散策コースは「日本の遊歩百選」にも選ばれている。

<鳥めぐり棚田ウォーク>【肥前町】

- ①平成13年度~
- ②平成17年度まで肥前町、平成18年度から実行委員会
- ③コース設定17kmと12km。棚田をはじめ畑地帯、農村集落、漁村を縫うように散策歩行。うち5kmを船上から棚田を眺望する。途中、地場産品の試食あり。成果としては、美味と評判のコシヒカリ生産基地が恵まれた自然環境を周知アピールできた。

④イベントの周知方法(広告費が少額のため)。交通の便の悪さ

⑤唐津市肥前支所 地域振興課TEL:0955-54-1111代表

<棚田ウォーク、親子棚田農業体験、菜の花種まき交流会、菜の花ハイク>【相知町】

- ①平成13年度~
- ②実行委員会
- ③コース設定約7km(棚田ウォーク、菜の花ハイク)。棚田を散策し、その美しい景観を体感してもらうとともに、棚田を造成した先人の努力と苦労に思いをはせてもらう。会場では、棚田米の予約販売、農産物・加工品の直売を行い、参加者と生産者が顔の見える交流を行う。

成果としては、棚田の景観や多面的機能をPRすることで、都市住民へ棚田保存に対する意識向上が図れている。また、棚田米の販売促進につながっている。

④イベント費用の捻出(広告宣伝費を含む)。新規顧客の開拓。

⑤唐津市相知支所 産業課TEL:0955-62-2279

<佐賀大学農学部との遊休農地の利活用等支柱とする地域交流協定>【相知町】

- ①平成15年度~平成20年度
- ②棚田援農隊「手間講隊」
- ③遊休農地約8,000㎡の復田、そこでの有機無農薬栽培の実験、新しい作物の栽培実験、環境教育・食農教育のフィールドとして利活用している。成果としては、住民-行政-市民-大学の地域連携による棚田保全活動により、地域に活力を与えている。
- ④平成20年度以降の事業継続について
- ⑤手間講隊事務局(佐賀大学農学部 地域資源学研究室 五十嵐)FAX:0952-28-8732
メール:igarasht@saga-u.ac.jp

<田植体験、稲刈体験>

- ②竹地区棚田景観保全委員会
- ③6月の田植え(ジャガイモ収穫等も併せて行う)、10月の稲刈りを行う(サツマイモ収穫等も併せて行う)。昼食は、地元の方との交流会(地元でとれたものを使用した、おにぎり、シシ汁等が味わえる。)自然環境のすばらしさと、棚田での耕作の大変さを都市住民に理解していただきたい。
- ④後継者不足。また、水不足を地区の問題として抱えている。
- ⑤竹地区棚田景観保全委員会会長 梶原康正
TEL:0946-72-2167

佐賀県有田町(旧西有田町)

担当:農林課
TEL:0955-46-2111 FAX:0955-46-2100

【特徴】平均勾配1/5という傾斜地での棚田であり、法面には堅固な石積みが施されています。石積みの技法は、布積、谷積等の方法が用いられ、現在も継承されている。

【棚田百選】【岳の棚田】30ha。生活排水が入らない水での育成により、平坦より昼夜の温度差が大きい。

<棚田米オーナー>

- ①平成9年~ ②岳信太郎棚田会
- ③体験型(35,000円で白米20kgを保証)、保全型(9,230円で白米8kg)のオーナー制。オーナーの二一に合った制度である。
- ④オーナー数の減少。
- ⑤代表 池田勝幸 TEL:0955-46-2246

<そばオーナー、大豆オーナー>

- ①平成13年~ ②もみじ村
- ③種まき、収穫、そば打ち、豆腐づくり、みそづくり。本物志向の農業体験ができる。
- ④オーナー数の減少。
- ⑤代表 前田裕男 TEL:0955-46-2202

<野農里(ののさと)まつり>

- ①平成14年~ ②野農里まつり実行委員会
- ③収穫感謝のゲームや出店。集落結束に貢献。
- ④雨天時対策
- ⑤代表 佐藤和久 TEL:090-9574-7675

佐賀県玄海町

担当:産業振興課 工務係
TEL:0955-52-2111 FAX:0955-52-2813

【特徴・棚田百選】【浜野浦の棚田】11.5ha。玄界灘に面した海岸から駆け上る階段のように斜面に幾重にも連なる面積11.5ha、枚数283枚の棚田である。特に4~5月の田植え前後は、夕日がオレンジ色に染まり、海と水田と畦畔が描く造形美はすばらしい。

佐賀県唐津市(旧肥前町相知町)

担当:相知支所 産業課
TEL:0955-62-2368 FAX:0955-62-2573

【特徴】【肥前町】:町域水田総面積750haのうち500haが棚田で玄界灘に突出している半島で、その地形も入り江が多く、水田も大地から海岸へ向かって階段状に多く散在している。10ha以上の団地が7ヶ所あり、それぞれを巡ることで特色を楽しめる。
【相知町】:町域65.08平方キロメートルのうち、山林が約65%、農地が約15%の農山村で、蕨野地区には約40haという広範囲に、勾配4分の1以上の棚

- ④農家の高齢化が進んだことによる制度の継続。
- ⑤千枚田ふるさと会/役場窓口 産業振興課商工観光係TEL:0889-65-1250

*平成18年度より、四万十川お茶堂の会による四万十川田んぼオーナー制度も始めました。こちらも千枚田オーナー制度と同じく、地域住民と、都市住民との交流が目的のひとつです。このような活動が広がってほしいなと思います。

<四万十川田んぼオーナー制度>

- ②四万十川のお茶堂
- ③地域:橋原町四万十区。
金額:60,000円・200㎡(200㎡以上は応相談)合鴨農法。目的は、景観の維持、地域間交流やU・Iターン者の受入。

福岡県星野村

担当:総務グループ企画情報班
TEL:0943-52-3111 FAX:0943-52-3283

【棚田百選】【広内(ひろうち)・上原(うへばる)地区棚田】126,101㎡

高低差230mの急斜面に137段425枚にも積み重ねられた広内・上原地区の棚田は「美しい日本のむら景観コンテスト」農林水産大臣賞(平成7年)、「日本の棚田百選」(平成11年)にも選定された景勝です。

<田植え、稲刈り体験交流事業>

- ①平成12年6月~
- ②広内・上原地区棚田保存実行委員会
- ③地域の資源を生かして、田植え、稲刈り体験を行い、農村と都市との交流を推進する。成果は、棚田の価値の再認識により、棚田保全の気運の高まり。
- ④耕作者の高齢化、農作業の厳しさ
- ⑤星野村役場総務グループ企画情報班TEL:0943-52-3111

福岡県うきは市(旧浮羽町)

担当:農林課 山村振興係
TEL:0943-77-2111 FAX:0943-77-7820

【棚田百選】【つづら棚田】標高500m、約7ha、約300枚。平成11年 第7回美しい日本のむら景観コンテスト むらづくり対策推進本部長賞受賞

- ①平成8年~
- ②実行委員会
- ③稲穂と彼岸花のコントラストの景観を楽しむ。平成11年 第3回ふるさとイベント大賞優秀賞受賞
- ⑤農林課 山村振興係 TEL:0943-77-2111

<棚田オーナー制度>

- ①平成9年~
- ②つづら棚田保全協議会
- ③田植え祭り・収穫祭。平成17年85組
- ⑤農林課 山村振興係 TEL:0943-77-2111

福岡県東峰村(旧宝珠山村)

担当:農林建設課 農政係
TEL:0946-72-2311 FAX:0946-72-2038

【特徴】狭隘な谷間のわずかな空間を利用して自然石を積み重ね、見事な階段状の棚田が村全体にわたって形成されています。

【棚田百選】【竹地区】約10ha。JR筑前岩屋駅より徒歩10分程度なので気軽に行くことができます。

<棚田オーナー制度>

- ①平成15年度～
- ②大中尾棚田保全組合
- ③年会費30,000円 年5回農作業体験があり、収穫後30kgのお米と地域の特産品をもらえる。都市部の方との交流により、地域の良さを再確認すると共に、棚田を守り、次の世代に引き継いでいくことへの意識が高まってきていることが成果。
- ④主な担い手が高齢者であり、後継者不足であること。

<案山子コンテスト in 大中尾棚田>

- ①平成14年度～(毎年9月下旬開催)
- ②大中尾棚田保全組合(外海ツーリズム協議会)
- ③稲刈りの時期に合わせて案山子を募集し、コンテスト当日、審査、表彰を行い、棚田米などを副賞として実施している。約70体の案山子が展示され、コンテスト当日は、出品者だけでなく、地区内外からたくさんの方が訪れ、大変な賑わいである。
- ④主な担い手が高齢者であり、後継者不足であること。
- ⑤以上すべて、大中尾棚田保全組合 会長 広山昭作 0959-24-0624(TEL/FAX兼用)または、外海(そとめ)行政センター 産業課 TEL:0959-24-0211

長崎県川棚町

担当:産業振興課

TEL:0956-82-3131 FAX:0956-26-6125

特徴・棚田百選 木場郷【日向の棚田】総面積約26ha、棚田枚数約1,100枚であり、すべてが石積で作られている。この棚田が築造されたのは約400年前と言われているが、戦乱時代の戦火により資料が遺失しているため詳細は不明だが、それより以前から造成されてきたらしい。

<木場棚田だんだんまつり>

- ①開催日:平成17年10月30日
- ②棚田だんだんまつり実行委員会(地元住民)
- ③棚田ウォーキング大会、丸太切り競争、縄ない競争、川棚中学校プラスバンド部による棚田だんだんコンサート、棚田米おにぎりとしんじふるまい、イノシシ(うり坊)レース、地元産の農産物販売。第2部として、棚田火祭りショー(木場浮立演舞)。成果として、当日は第1部が約400名と第2部約150名の方が町内外より来場された。日本の棚田百選にも認定されている当地区はもとより、棚田地帯の重要性や農業の必要性をアピールできた。また、地区住民が一体となり企画段階から参加しているため、地区の融和と親睦が深まった。初めての開催ということもあり、まつりの告知や会場運営、イベント内容などについてすべて手探り状態で行った。今回の反省点を活かし、次回以降の開催を目指していきたい。
- ⑤川棚町役場産業振興課 TEL:0956-82-3131

熊本県山都町(旧矢野町、清和村、蘇陽町)

担当:農林振興課

TEL:0967-72-1111 FAX:0967-72-3241

棚田百選【峰棚田】【菅迫田】

<菅迫田オーナー制度>

- ①平成8年度～
- ②菅地域振興会
- ③迫田をオーナーへ貸付し、農作業を体験。棚田と景観の保全、都市住民との交流が成果。
- ④地域の高齢化
- ⑤菅地域振興会

真っ赤な彼岸花と黄金色の稲穂の中で、住民手づくりのイベントを通じて都市住民との交流が生まれている。

- ④駐車場(離れた場所からシャトルバス運行中)
- ⑤鬼木棚田協議会(波佐見町役場農林課内) TEL:0956-85-2111

長崎県雲仙市(旧千々石町)

担当:千々石総合支所産業建設課産業振興班

TEL:0957-37-2001 FAX:0957-37-2639

特徴 雲仙山系からの清流により育成される千々石棚田米。その中でも岳地区は千々石町の最深部に位置し、壮大な石積みの棚田を目にすることができる。

棚田百選【清水棚田】30ha。清水川に沿って形成されており、ところどころには未加工の巨石をそのまま使用してある石積みも存在している。

<岳棚田収穫祭>

- ①開催日:11月中下旬 ②岳棚田プロジェクト21
- ③棚田米の直販、地元学生や各種団体による出し物等を行う。都市部からの来客が、年々増加している。
- ⑤雲仙市千々石総合支所産業建設課 TEL:0957-37-2001

長崎県松浦市(旧福島町)

担当:福島支所 地域振興課 商工観光係

TEL:0955-47-3111 FAX:0955-47-2585

特徴・棚田百選【土谷(どや)棚田】約10ha。土谷棚田では、玄界灘に沈む夕陽が棚田一面をオレンジ色に染め、幻想的な空間を導き出すことで、全国的にも有名で、特に4月～5月にかけての田植え時期には、全国各地から大勢のカメラマンが訪れる。

<土谷棚田の火祭り>

- ①平成15年度～(今年は5月6日に開催)
- ②土谷棚田保存会
- ③畦道に松明を設置し、午後7時に点火する。観光客への保全意識が高まりつつある。
- ④開催事業費の捻出。

長崎県南有馬町

担当:経済課農林水産係

TEL:0957-85-3111 FAX:0957-85-3142

特徴 地域の約80%が急傾斜地。水田約400haの内300haを超える部分がいわゆる棚田。山間部まで耕地が開けており、耕地利用率が高い。

棚田百選【谷水棚田】約4.5ha、約230枚。法面石積みで、表作水稻、裏作馬鈴しよで、年間を通じて作付けされていることが特徴。

長崎県長崎市(旧外海町)

担当:農林振興課 企画農政係

TEL:095-825-5151(内4223) FAX:095-820-3045

特徴 大中尾棚田には、近くに水源がないため、4.2km離れた神浦川上流から水路を使って、水を取り入れている。先人が200年余りの歳月をかけて1枚1枚の田を耕し、現在の棚田ができたといわれている。

棚田百選【大中尾(おおなかお)棚田】6.5ha。下大中尾集落の中心に位置する棚田には、100～1720㎡の大小約300枚の田んぼがある。

佐賀県多久市

担当:産業振興課 農政係

TEL:0952-75-4825 FAX:0952-75-6113

特徴 地区名:多久市南多久町天ヶ瀬地区(鎧田)。水田面積:2.5ha。法面構造:野面積み。天ヶ瀬地区は、多久市の南部、鬼ノ鼻山系の中腹標高150mに位置し、米作及びみかんを中心とした農山村の棚田地域です。天ヶ瀬ダムから眺める田んぼは、緩やかに弧を描き、重なり合うよりのどしようです。

<中山間地域等直接支払制度>

- ①平成12年度～
- ③集落で農業生産活動や水田の持つ多面的機能の維持に努めています。
- ⑤連絡先:多久市まちづくり部産業振興課 吏員 瀬戸口泰輔 TEL:0952-75-4825

佐賀県佐賀市(旧富士町)

担当:産業振興課 農政係

TEL:0952-58-2860 FAX:0952-58-2119

特徴 山間地域に広がる棚田。主に稲作
棚田百選【西の谷の棚田】(富士町大字大串)
<ふうそう祭り>

- ①平成元年～ ②大串ふるさとカンパニー
- ③ふうそう(れんげ草)を囲み、生産者と消費者が集う。年間参加者200名程度。成果としては、棚田に対する理解の向上。
- ④ダム建設による景観の変化
- ⑤大串ふるさとカンパニー(富士支所内 FAX:0952-58-2119)
メール:fuuzou@cpost.plala.or.jp

佐賀県小城市(旧小城市)

担当:農林水産課 農村整備課

TEL:0952-63-8820/8821 FAX:0952-63-8828

特徴 水と蛭に代表される江里山地区は、平成4年に「全国農村景観百選」に選ばれたのを契機に、「棚田と彼岸花の里づくり」に力を入れ、平成11年には「日本の棚田百選」に認定されました。

棚田百選【江里山の棚田】14ha。9月中旬になると、棚田のあぜに彼岸花が咲き、美しい棚田を縁取った美しい風景が広がります。

<中山間地域等直接支払交付金事業>

- ①平成12年度～平成21年度
- ②江里山地区棚田保全組合
- ③棚田の管理及び水路農道等の草刈り泥上げ補修。耕作放棄地防止活動、県特認栽培農作物作付販売。成果は耕作放棄地の防止。
- ④高齢化による農地管理者の減少・後継者不足。

長崎県波佐見町

担当:農林課農政係

TEL:0956-85-2111 FAX:0956-85-7351

特徴 馬蹄形に開けた虚空蔵山系の山裾に、先人達が長い歴史の中で築いた石垣が幾重にも広がって見晴らしの良い景観を保たれている。見渡す範囲の中で耕作放棄された田畑が非常に少ない。

棚田百選【鬼木棚田】約20ha。400枚

<鬼木棚田まつり>

- ①平成12年～ ②鬼木棚田協議会
- ③内容は、枝豆収穫祭、里芋里親農園収穫、棚田ウォークラリー。案山子コンテスト、振る舞い田舎汁。住民手づくりのユニークな案山子約80体が歓迎。

【栃又】【徳別当】
いすれも、周辺地帯を含んだ農村風景としての美しさがある。

ゆうすい
鹿児島県湧水町 (旧栗野町)
担当:農林課 農政係
TEL:0995-74-3111 FAX:0995-74-4249

特徴 江戸時代に作られたとされる武者返しのある棚田

棚田百選 【くりの町 幸田の棚田】 30ha
＜棚田米産直交流＞
①平成9年度～
②町観光特産協会
③田植えから収穫までの農作業体験。幸田の米を町外の方に味わってもらい、販売面での促進につながった。
④イベントのマンネリ化
⑤役場商工観光課 TEL:0995-74-3111

鹿児島県鹿児島市 (旧郡山町)
担当:郡山農林事務所
TEL:099-298-4861 FAX:099-298-2916

特徴 鹿児島市郡山町八重にある【八重の棚田】は、桜島を眼下に見下ろす位置にあり、近くには甲突川源流甲突池もあり、景観に優れている。

＜農業体験イン八重の棚田＞
①平成14年～
②八重地区棚田保全委員会
③田植え、田草取り、稲刈り、そば植え、そば刈り、収穫祭を実施。農業体験を通して都市と農村が交流できることが成果。
④今後、さらに都市と農村の交流を図っていくためには、地元と参加者が一体となって盛りあげていくことが必要。

受益区域。この湧水は、宮崎県の名水として選定されており、「四億年の雫」として販売しており、生きた水として好評を得ている。

【下の原(しもはる)】5.69ha 勾配1/15。下の原地区は、三ヶ所用水路の受益区域。支線組合を中心に支線用水路や棚田の維持保全活動を展開。特に内の口集落においては、営農集団でしいたけ等との複合経営を展開。

【鳥の巣】2.14ha 勾配1/12。鳥の巣地区は、三ヶ所用水路の受益区域。支線組合を中心に用水路や棚田の維持保全活動を展開。特に宮の原集落においては、暖地営農づくり推進協議会で地域にあった農業経営を展開。また、農家自身で地区の農道をコンクリート舗装する等、地域一帯となった活動を展開している。

宮崎県日之影町
担当:企画開発課 振興係
TEL:0982-87-3910 FAX:0982-87-3918

特徴・棚田百選 【石垣の村】104枚、4.2ha
高さ11m(日本一の高さ)の石垣あり。7戸の農家が石垣の村管理組合を組織し管理している。

＜石垣の村戸川、棚田まつり＞
①毎年4月下旬に開催
②石垣の村管理組合
③石垣茶屋周辺の棚田を舞台として、神楽・コンサート・舞踊・もちまきなどが行われる。地域のイメージアップや入込客が増えたことが成果。
④高齢化による棚田の保全問題。
⑤役場企画開発課 TEL:0982-87-3910

宮崎県高千穂町
担当:農地整備課
TEL:0982-73-1211 FAX:0982-73-1227

特徴 周辺地域を含んだ農村風景としての美しさ。

棚田百選 【尾戸の口】16.4ha

宮崎県日南市
担当:農政課 農政企画係
TEL:0987-31-1132 FAX:0987-24-0080

特徴・棚田百選 【坂元棚田】坂元棚田は、日南市の最高峰である小松山(989m)の麓に位置し、小松山を水源に清らかな水が谷川から棚田へと続いている。昭和3年から10年にかけて開田され、田は全国の棚田でもめずらしく整然とした長方形であり近代的なイメージであるが、石積みは小さな石と大きな石を割って積み上げられた荒削りで素朴な温かみがある。先人達が試行錯誤し、築いた苦勞の歴史が石積みに刻まれている。現在では、地元住民が農閑期にれんげを蒔き、毎年4月初旬の日曜日には棚田一面がれんげの花で彩られる「棚田祭り」が行われ、訪れる人々の心を潤している。また、平成14年度から棚田オーナー制度を実施し、棚田の保全と都市農村交流の活動を展開している。現在、棚田サミットに向け、面積調査を行っています。

＜坂元棚田オーナー制度＞
①平成14年度～
②酒谷グリーンツーリズム協議会
③年会費:35,000円。特典:白米25kg。地元農産物の発送(12月・3月)。収穫祭への招待(ソバ打ち、餅つき体験・焼き鳥・焼き芋など素朴な地元のもてなし)。市内の観光施設の優待制度。成果として、オーナーさんが毎月1回集まって自主的に棚田保全に取り組んでおられる。
④事務局の体制確立。オーナーさんとの連絡やイベントの準備等をする人材がもっとも必要。
⑤日南市農政課 TEL:0987-31-1132

宮崎県五ヶ瀬町
担当:建設部耕地係
TEL:0982-82-1713 FAX:0982-82-1724

特徴・棚田百選 【日蔭(ひぞえ)】7.45ha 勾配1/18。日蔭地区は、九州島発祥の地である祇園山からの湧水を水源とする日蔭用水路第1号線の

【初日】総会の後に開会式、基調報告(棚田の活動報告)、パネルディスカッション、全体交流会等

《2日目》坂元棚田ミニカントラウオーク、棚田現地で事例発表、共同宣言採択、閉会式

本年度の総会で、開催地の財政負担軽減のため事業費を見直し、大会様式を変更することを承認いただいた上で、日南市サミットがその先駆けとなります。いろいろと企画を練っておられますので、開催が楽しみです。

2月22日(水)、都道府県会館(東京都千代田区)にて、第2回理事会を開催しました。主な議題は、第12回棚田サミットの開催概要について、そして、かねてより懸案事項でありました第13回棚田サミット開催地についてです。

理事会では、まず、新城市(旧鳳来町)から、第11回サミットの報告がありました。全国から延べ1,200名の参加者を迎え、盛会のうちに閉会。とくに、地元連合小学校児童の取り組みは、すばらしいものでした。

次に、今年10月6日～7日に宮崎県日南市で開催される第12回サミットの概要が発表されました。

事務局 ニュース

事務局、佐賀県唐津市からのお知らせコーナーです

【4月からの事務局】
愛知県新城市鳳来総合支所経済課
電話05336(32) 1984

第13回サミット開催について、会員の皆様にはご心配をおかけしましたが、このたび、栃木県茂木町から開催要望書を提出いただき、理事会にて承認いたしました。茂木町には、棚田百選の「石畑の棚田」があり、地元の入郷棚田保全協議会にて、棚田オーナー制度やボランティア作業など、活発に活動されていますので、創意工夫あふれるサミットになることと思っております。

また、サミット開催地選定委員会は、委員長に中島峰広理事、委員に幹事2名(岐阜県恵那市、ふるさときやらばん)に就任いただき、昨年9月に発足しました。現在、茂木町に続き、第14回大会開催地選定に向け、尽力いただいているところです。

会員の勧誘については、棚田百選の選定地区があつて、当協議会未加盟の自治体へ入会案内を郵送しましたが、残念ながら入会には至りませんでした。会員勧誘については、これから地道に継続していく必要があります。皆様からのお力添えをお願いいたします。

さて、1年間事務局を担当させていただきました。皆様から貴重なご意見、情報をお寄せいただきとともに、円滑な事務運営にご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

4月からは、愛知県新城市に事務局が変わります。今後とも当協議会をよろしく願っています。

第13回サミット開催について、会員の皆様にはご心配をおかけしましたが、このたび、栃木県茂木町から開催要望書を提出いただき、理事会にて承認いたしました。茂木町には、棚田百選の「石畑の棚田」があり、地元の入郷棚田保全協議会にて、棚田オーナー制度やボランティア作業など、活発に活動されていますので、創意工夫あふれるサミットになることと思っております。

また、サミット開催地選定委員会は、委員長に中島峰広理事、委員に幹事2名(岐阜県恵那市、ふるさときやらばん)に就任いただき、昨年9月に発足しました。現在、茂木町に続き、第14回大会開催地選定に向け、尽力いただいているところです。

会員の勧誘については、棚田百選の選定地区があつて、当協議会未加盟の自治体へ入会案内を郵送しましたが、残念ながら入会には至りませんでした。会員勧誘については、これから地道に継続していく必要があります。皆様からのお力添えをお願いいたします。

さて、1年間事務局を担当させていただきました。皆様から貴重なご意見、情報をお寄せいただきとともに、円滑な事務運営にご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

4月からは、愛知県新城市に事務局が変わります。今後とも当協議会をよろしく願っています。

伊根と新井の千枚田を愛する会活動 (京都府伊根町)

京都府北部、丹後半島先端の伊根町、眼前に冠島と杵島が浮かぶ日本海に面した新井地区に、新井の千枚田と呼ばれる棚田がありま

す。千枚田、新井崎漁港、日本海へと続く美しさは、人と自然が創り出した「日本の原風景」です。その景観は度々写真コンテストに投稿されていますが、肝心の棚田は15年前から急激に耕作放棄が進み、現在では愛する会がオーナーとなっている30枚の棚田以外にはほとんど耕作されていないのが現状です。

このような状況の元、1998年から棚田での農業体験として活動を始め、2000年に大阪府内の米店6名が役員となり、伊根と新井の千枚田を愛する会を立ち上げ、本格的に棚田保全に向けて活動を始めました。

まず、京阪神地区の知人に活動の趣旨を案内し棚田応援団(年会費会員)を募りました。年間1口1万円(1家族・少人数グループで1口も可)とし、当初3年間は農作業にできる限り参加することに条件を募集していましたが、そ

の後は棚田に関心のある方ならだれでも可として募集しています。

毎年新たに約5口の入会がありますが、継続していただけない方もあり、ここ3年間の会員数は60〜65口です。会としては100口を目標にしています。また、会員特典として棚田収穫米(稲木干し)5kgと伊根地酒(A)・伊根鮮魚(B)・伊根農産物(C)の各セットを設けています。

年間の活動は5月下旬田植え・7月中旬草刈り・9月中旬稲刈りの体験イベントを新井区と共催しています。昨年の田植え・稲刈りはどちらも大人・子供合わせて70〜75人の参加と地元から12名の作業指導、協力をいただきました。

また、伊根町都市と農水山村交流推進協議会主催の春の山菜摘み、夏と山1泊体験、秋のそば祭りと農産物収穫体験にも積極的に参加しています。このように棚田保全活動に限定せず、伊根広くは丹後の豊かな自然の恵みを都市住民に知ってもらおうとともに「食」についても考えてみる機会となるように活動しています。

会代表 福満 敏博

今後の課題としては、地元も愛する会もこれまで個々人の努力で進めてきたことは否めません。更なる復田を目指すには、正式な新井区棚田保全会の設立と行政の積極的な支援と私たち愛する会の3者が不可欠であることは間違いありません。そのためにも、棚田を守ることは地区を守ることにつながり、地域の活性化にもつながっていること、各地の活動を参考に理解してもらおうとともに、実現できるように活動していきたいと思えます。

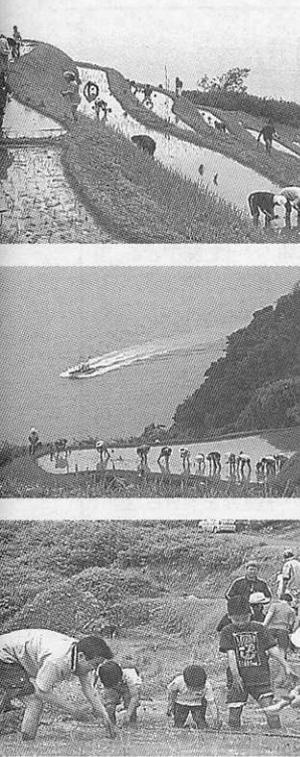
BOOKS

■今号の表紙写真&メッセージを寄せてくださった写真家、藤田洋三さんの本

『墓塚放浪記』

全国各地で、呼び名も異なるわらづか。藤田洋三さんは、そんな日本中のわらづかを追いかけて、写真に収めています。日本の原風景が1冊の本になっています。

出版社…石風社
・サイズ…単行本/239p
・定価…2625円(税込)



第12回全国棚田(千枚田)サミットニュース

テーマ:棚田・未来への継承 ~人の絆が棚田を創る~
開催地:宮崎県日南市

<第1日目>10月6日(金)

- 9:00~ 全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会
- 10:00~ 全国棚田(千枚田)連絡協議会総会・首長会議
- 11:50~ 昼食
- 13:00~ 開会式
- 13:30~ 基調報告
 - ①都市部の棚田の報告
 - ②地方の棚田の報告
 - ③その他
- 15:15~ パネルディスカッション
- 17:30~ 全体交流会

<第2日目>10月7日(土)

- 9:00~ 坂元棚田ミニカンントリーウォーク(棚田散策)
- 10:30~ 事例発表
- 11:00~ 宣言案採択
- 11:10~ 閉会式
- 11:30~ 昼食

*ノーネクタイ、歩きやすい服装でお越しください。

去る2月22日に全国棚田(千枚田)連絡協議会幹事会及び理事会が東京の都道府県会館で開催され、日南市実行委員会で検討した2日間の日程についてご承認頂きました。

ただ、日程の骨格が承認されただけで、詳細については、まだまだ調整をしなければなりません。これから、全国の皆さんにお願いすることもあるかと思いますが、第12回サミットが成功できるようご協力を頂ければ幸いです。

申し込み案内については、7月を予定しておりますので今しばらくお待ちを頂くこととなりますが、全国の皆さんと10月にお会いすることを楽しみにしながら、準備を進めて参ります。

(宮崎県日南市農政課 安部裕二)

会員募集中

棚田の保全・中山間地域活性化のための全国組織
全国棚田(千枚田)連絡協議会

お申し込み・お問い合わせは協議会事務局
佐賀県唐津市相知支所産業課

〒849-3201 佐賀県唐津市相知町相知2055-1
TEL:0955-62-2368 FAX:0955-62-2573
協議会HP:<http://www.yukidaruma.or.jp/tanada/>

編集後記

アンケートにお答えくださった自治体担当者のみならず、ほんとうにありがとうございました。<前編><後編>と2号にまたがってお伝えしていきます。正直なところ、自治体名がすっかり変わってしまっ、なかなかピンとこないのが本音です。再編成された全国棚田(千枚田)連絡協議会をみんなでますます盛り上げ、棚田保全や中山間地域活性化の気運をより強いうねりにしていきたいと思えます。 石井里津子